

子供宝也

No.19

平成 26 年 7 月 9 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

ミシン：6年4組

担任の先生がお休みをいただきました。シメシメと思って、自習計画の配当に加えてもらいました。なんと、「家庭科」しかも「ミシン」「エプロンづくり」…う～ん。まあ、5・6年ばかり担任してきましたから、ちょっとは自信もあります。「任せなさい！！」とか言ってしまいました。

ミシンを見てビックリ！！この頃のミシンは「ボビンケース」がないんですね。出だしからうろたえてしまいました。でも、もう一人の女性の先生のおかげで、なんとかクリア。

子どもたちは、もっと手がかかるかなと思っていたら、結構みんな上手で、スピードもどんどんあげるの、ストップをかけなければいけないほどでした。以前担任した子どもたちは、男の子はたいていダメでしたが、このクラスの男の子たちはなかなかです。

女の子もなかなかやるのです。

ある女の子のグループのミシンだけがなぜだかうまく動きません。私が必死で直そうとしましたが無理でした。でも、最後の最後に子どもたち自身が直して、使えるようになりました。大したもんです。

結局、あんまり役に立たない私でした。

見守り隊発足

長年の懸案事項でした「下校時の児童見守り隊」ができました。「武庫地区シルバーふれあいの会」という団体が、2学期から完全ボランティアでやってくれます。

この方たちの基本的な活動方針は、「安全な下校」だけではなく「挨拶の励行」なのだそうです。本校の教育方針にもピッタリ一致します。活動する人数が限られているため、どこもここもというわけにはいきませんが、本当にありがたい限りです。

9月1日の始業式で子どもたちに紹介する予定です。安全に下校でき、そのうえ、あいさつもしっかりできる…大きな期待を寄せています。

宇宙旅行へ出かけよう！！：4年

4年生が生活科室に集まっています。今から、宇宙旅行に出かけるのだそうです。

4年生は、理科の学習で星座について勉強しています。興味や関心が高い子どもたちに、スペシャルなプレゼントでした。

ノグレオ・ノグレイとかいう変なアメリカ人（自称）が登場して、スクリーンにいろいろな美しい映像を映して、丁寧に説明してくれました。夏の大三角のこと、ブラックホールのこと、いろいろな惑星のこと、夏の大三角のおぼえ方は「夏アル、三角デベそ」とか…。

旅は、銀河系まで広がり、さらに広がり、子どもたちの夢や想像や希望もうんと広がり、とてもいい時間でした。将来、宇宙飛行士がこのなかから出てくるかもと予感させられるような時間でもありました。楽しかったね。